

教育活動の様子

が掲載されました。

(南日本新聞 2025/9/27(土))

贈られた野鳥パネルと児童ら。中央は畠野尚利さん
＝曾於市の財部南小学校



財部南小にパネル12枚贈る

曾於市の財部南小学校にカワセミやハヤブサなど60種類の野鳥の絵を描いたパネル12枚が届いた。贈り主は霧島市の野鳥作家、畠野尚利さん(79)。県の愛鳥モデル校に指定されている同校の取り組みに共感し、これまでに2度、木彫りの野鳥を贈っている。今回も愛鳥教育に役立ててほしいとの願いを込めた。

ベニヤ板をキャンバスに背景は鮮やかな黄色。1枚(縦60センチ、横40センチ)につき5羽の野鳥をアクリルで描いている。同校には「小鳥の部

霧島の野鳥作家・畠野さん

屋」と名付けた展示室があり、児童が描いた鳥の絵や木彫りの作品などが飾られている。パネルは、空きスペースの壁に取り付けた。

22日あった贈呈式で、畠野さんが児童代表に手渡した。3年の三島琴音さんは「小鳥の部屋が明るくなったと思う。これからも愛鳥校として頑張りたい」とお礼を述べた。畠野さんは「小鳥の部屋らしくなったと思う。野鳥の名前を一羽でも多く覚える教材として活用してもらえればうれしい」と話した。(中島裕二郎)



